

労基法改悪を許さない学習会

9月25日(水) 18:00
国労大阪会館 1階ホール+オンライン

介護署名スタート学習会

9月27日(金) 18:30
国労大阪会館 2階第二小会議室+オンライン

一部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています 1993年6月22日第三種郵便物認可

あ
ん
な
い



大阪労連第59回定期大会

大阪労連第59回定期大会

大阪労連

仲間を増やし、憲法がいきる 職場と社会をつくらう!

9月7日、大阪労連は第59回定期大会を開催しました。2025年度の運動方針などすべての議案を全会一致で採択し、新体制を確立して、新たなたたかいのスタートを切りました。

最初に菅議長から挨拶、続いて、来賓の全労連の九後健治副議長、日本共産党の宮本岳志衆議院議員から激励と連帯の挨拶を頂きました。

討論では、12単産・4地域組織、2補助組織18人が発言し、運動方針を補強。組織拡大・強化、春闘・夏季闘争、維新型政治による住民生活破壊・教育破壊を許さないたたかい、万博・カジノストップのたたかいなど、職場・地域から豊かな経験が語られました(2、3面参照)。

大会宣言「対話と学びあいで仲間づくりをひろげ、組織拡大を旺盛にすすめるよう」、特別決議「万博・カジノストップ」を採択し、最後に福岡新議長の団結ガンバロウでたたかう決意を固めました。

2025年度は大阪労連結成35周年の節目の年です。仲間を増やして頑張りましょう。



特別決議を提案する
女性部中村代議員



大会宣言を提案する
青年部早瀬代議員



日本共産党
宮本衆議院議員



全労連九後副議長



挨拶をする菅議長

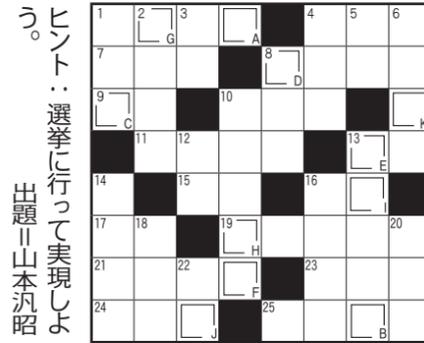


新任の挨拶をする
福岡新議長

ろーれん

クロスワードパズル

【とき方】二重カッコをアルファベット順に並びかえてください。あらわれた言葉・成句・詩歌が答えです。一部の文字は濁点に読み替えてください。



ハガキまたはE-mailで〒・住所・氏名・組合名を必ず明記してください。
〈宛先〉〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館1F 大阪労連機関紙係
E-Mail: kikanshi@osaka-rouren.gr.jp
〈締切〉10月25日(金)
(発表は11月号)
〈賞品〉正解者の中から抽選で10人に図書カードを贈ります

「バスル」の応募方法
製作所支部) 村岳史(野村製作所支部)

- 1 上昇の対。成績が〜気味
- 2 心の奥底。〜惚れた
- 3 夫の対
- 4 高度の高い土地。〜トレーニング
- 5 サナギが〇〇して成虫に
- 6 あげしめ。扉の〜、〜橋
- 7 扉などを叩くこと。〜して入室
- 8 横文字で語の最初の字。頭文字
- 9 骨と肉、血族。〜の争い
- 10 青は〇〇より出でて〇〇より青し
- 11 母と子。〇〇手帳
- 12 敵の思つ〇〇にはまる
- 13 夕焼け小焼けの〜
- 14 相思〜の仲
- 15 生活・勉学を助けたため金品をおくること。息子に〜する
- 16 〇〇を高くして寝る
- 17 亡くなった人。〜を偲ぶ
- 18 誰の〇〇でもありやしない
- 19 奈良公園にたくさんいるよ
- 20 この動物とヨコ16を熟語にして言うと相手は立腹するよ!
- 21 風流を解する男、または柔弱な男
- 22 車の、足で踏む加速装置
- 23 教えいましめる言葉。校長の〜
- 24 用件等を人に頼むこと。ご〜の件
- 25 漆を塗った箸↓塗り箸、漆を塗った盆は? 6月号の答えは「メタンガスバクハツジコ(メタンガス爆発事故)」でした。応募数はハガキ10通、メール96通、合計106通でした。次の10人の方に図書カードを贈ります。

好クリーン

「あの人が消えた」「ぼくが生きる、ふたつの世界」
「あの人が消えた」は、『ブラッシュアップライフ』の水野格監督が脚本を担当。配送会社に勤める青年・丸子(高橋文哉)は、一次々と人が消える「マシンの担当になりま〜す。そこで、丸子が愛読しているWEB小説の作者・小宮が住民ではないかと興味を持ち、毎日のように出入ります。丸子は、小説家を目指す職場の先輩・荒川(田中圭)にも相談し、意見を仰ぎながら任人の正体を探ろうとし、いつしか2人は思いがけない大事件に巻き込まれていきます。...



「あの人が消えた」は、『ブラッシュアップライフ』の水野格監督が脚本を担当。配送会社に勤める青年・丸子(高橋文哉)は、一次々と人が消える「マシンの担当になりま〜す。そこで、丸子が愛読しているWEB小説の作者・小宮が住民ではないかと興味を持ち、毎日のように出入ります。丸子は、小説家を目指す職場の先輩・荒川(田中圭)にも相談し、意見を仰ぎながら任人の正体を探ろうとし、いつしか2人は思いがけない大事件に巻き込まれていきます。...

年間共済拡大表彰! 1位 年金者組合! 2位 北河内地区協! 3位 建交労大阪府本部!

共済拡大の教訓は、対話で共済内容を語れば理解が深まり加入に結びつくことです。2024年度(2023年7月~24年6月末)の1年間に共済拡大で奮闘いただいた各団体(共済会)に金一封と表彰状を大阪労連の定期大会時に授与しました。今年も、どの組織も組合員が減るなかで奮闘され、年金者組合では対話拡大キャンペーンで奮闘し、昨秋と春の対話キャンペーン中に310人と対話し100人以上を共済拡大しています。また北河内地区協でも目標を超える対話運動にとりくみ共済拡大に貢献していただきました。さらに建交労は、組織加入数は減りましたが個人加入共済で奮闘し、掛金ベースで増額にしています。10月からは秋の拡大キャンペーンも取り組みます。どの組合も組織を維持・運営するのに大変な思いをされていると思います。儲けるための共済でなく助け合いの共済だからこそ安い掛金で運営できています。新年度も組織拡大と併せて奮闘していきましょう。